

～ジェイアール東日本ビルディング初の単独開発ビル～
「JEBL秋葉原スクエア」竣工
千代田区神田練塀町に新築オフィスが誕生します

株式会社ジェイアール東日本ビルディング（本社:東京都中央区八重洲、代表取締役社長 田邊 滋）初の単独開発ビル「JEBL秋葉原スクエア（ジェイナルアキハラスクエア）」が8月31日（水）に竣工します。

当社はJR東日本が開発するオフィスビルの運営管理を担う会社として発足しましたが、JR東日本グループが掲げる「グループ経営構想V～限りなき前進～」の中の「新たな事業領域への挑戦」にも取り組んでいます。本プロジェクトは、用地の仕入れから開発までを自社で行うデベロッパー事業としての1号案件です。2015年に創立10周年を迎えた当社は、更なる成長を遂げるため、挑戦を続けます。



※「JEBL秋葉原スクエア」は、(株)ジェイアール東日本ビルディングの登録標章です。

※本件プレスリリースは、ときわクラブ、丸の内記者クラブ、JR記者クラブ、国土交通記者会に同時配布しています。

■主な特徴

「地域・歴史をふまえた開発」

江戸の頃、この界隈には瓦と土の縞模様が美しい「練塀」の武家屋敷があったことから、「練塀」の特徴である水平ラインを際立たせたモダンな外装デザインとしました。



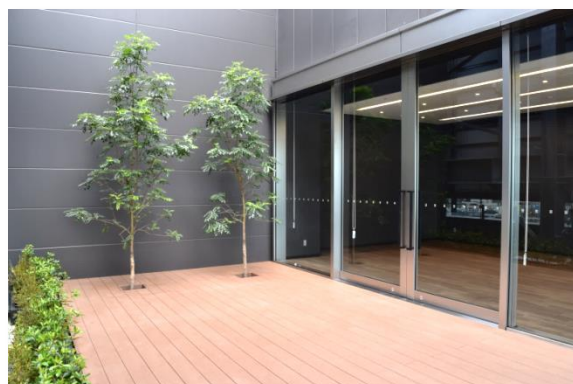
(参考) 練塀

「高品質なオフィス空間の提供」

入居者への快適なビジネス環境を提供するため、最上階にスカイラウンジ、屋上テラスを設けました。スカイラウンジにはハイカウンターやトイレを備えており、窓を開放すれば屋上テラスと一体的な活用が可能です。



スカイラウンジ



屋上テラス

「環境配慮・BCPを踏まえた計画」

オフィスとしての安全性を確保し、入居者の事業継続性(BCP)を支援する観点から、「免震構造」を採用し、災害時の非常用発電機による電源供給や、トイレの継続使用、防災備蓄倉庫の設置等の面で充実を図りました。環境負荷の低減を図る施策として、Low-Eガラス、LED照明、太陽光パネル等を採用しています。



(参考) 免震構造

■店 舗

入居者や地域の方々への利便性向上を図るため、1~2階に店舗を設けました。

1階「ローソン秋葉原スクエア店」 24時間営業

2階「魚金秋葉原（仮称）」秋葉原“初出店”

毎朝築地より仕入れる新鮮な魚介類を和食・フレンチの料理人が腕を振るう居酒屋とビストロを融合させた新業態。



北西イメージ



北東イメージ

■建物概要

建物名称	JEBL秋葉原スクエア (ジェイバルアキハバスクエア)
所在地	東京都千代田区神田練堀町85番地
構造	鉄筋造、一部鉄筋鉄骨コンクリート造、 鉄筋コンクリート造、免震構造
敷地面積	約1,410㎡
延床面積	約11,580㎡
階 数	地上13階、地下1階、塔屋1階
主要用途	事務所、店舗、駐車場
設計・監理	株式会社日建設計
施 工	大成建設株式会社 東京支店
工 期	2014年12月～2016年8月



位置図

【参考：会社概要】

社 名：株式会社ジェイアール東日本ビルディング
 本社所在地：東京都中央区八重洲二丁目2番1号
 代 表 者：田邊 滋
 資 本 金：4.8億円（東日本旅客鉄道株式会社100%出資）
 設 立：2005年7月1日
 事 業 内 容：不動産事業、ビル運営、コンファレンス運営、その他

(株)ジェイアール東日本ビルディング (JEBL) は、JR東日本のオフィス事業子会社として2005年に設立しました。サピアタワー、グラントウキョウサウスタワー、JR新宿ミライナタワー、JR南新宿ビル、JR神田万世橋ビル、JR大塚南口ビルなど、JR東日本の各プロジェクトに開発段階から携わり、竣工後の運営を担っています。